

# ラヴ・ノート

発行日 2014年2月18日



## ～ も く じ ～

- ・ 活動のご報告 (2013.09～2014.02)
- ・ 活動のご報告 (その2)
- ・ Voice -不登校を体験した立場として-
- ・ 伝言板



## 活動のご報告

ぜひ、ラヴニール独自の企画・プロジェクトとして進めていきたい！ です。

### ○ プロジェクト？ ○

どこかバザーや、フリーマーケットなど、そういうところで販売する・・・、ちょっと考えたらわくわくしちゃうようなお話でした☆

「つくること」をしている中で、こんな声があがりました。

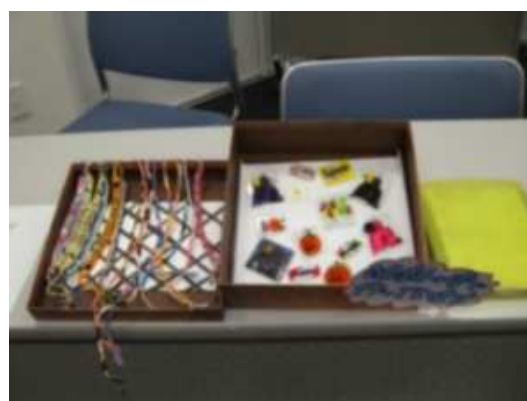
「このつくった物を売ったらどうなるかな・・・」

プラバンを使っただけのキーホルダーや、ミサンガ(文字の入ったもの、そうでないもの)、紙粘土で・・・、といろいろつくる中で、ふとあがった、こんな声。

そこから、話はどんどん膨らむ膨らむ♪

どんな物をつくれそうか、どういう場所で販売するか、アイデアってこんなに続けて出てくるもの？ というぐらい弾んで、盛り上がる♪

せっかくあがったこういう声は、大事にしていきたいな、と思います。大切にじっくり煮詰めて熟成させて、



1月13日のフォーラムのときに、「活動の中でつくったもの」として、少し作品を展示しました。

### ○ お泊まり会 ○

2013年最後の活動日には、カラオケ&お泊まり会をしました。

まず、カラオケ。フリータイムで楽しみ、それだけ長

い時間やるのだから、と、ジャンルも年代も不問！  
気がつけば、「いかに古い歌を歌えるか？」なんて勝負になっていました…。

年代の古い曲を知ってるのは、そら、スタッフのほうが有利に決まっています(泣)。ので、次に同じような勝負をするときは、「生まれ年とその曲が出た年の差が大きかったほう」で比べたら…、これなら生まれ年の有利・不利はなくなるはず。

午後6時ごろ終了し、スーパーに寄って、夕飯の食材を調達。ラヴニールに戻って、シーフードカレーをつくって食べました。

翌日のお昼で、解散となりました。

(2013年12月)

## 活動のご報告(その2)

### フリースクールスタッフ

#### 養成・研修講座 2013Autumun

2013年9月15日(日)~16日(月・祝)

私は、東京で行われました、フリースクールスタッフ養成・研修講座 2013Autumunに参加させて頂きました。

2日間の学びの中で、様々な事を学ばせて頂きました。

参加されているのは、様々な立場に立たれておられる方ばかりで、物事の見方の違いについても新鮮で貴重なご意見を聞かせて頂いたり、貴重な出会いばかりで、私は、そのひとつひとつを宝物のように思っています。

特に印象に残っています事を書かせて頂きます。

私は、2日目の分科会で、「困難な状況を抱えた子どもとの関わり」(分科会4)に参加させて頂きました。担当は、東京シューレの奥地圭子さんでした。

いくつかのケースを説明して下さい、参加者の方を囲み、話し合いの席がもたれました。

私は、この分科会を通して「命」について深く考えました。

子どもたちの「命」、またとない「命」の大切さについて、考え思いました。

奥地さんが胸につけられていた、ペンダントは、New Zealandのマオリの「命」を象徴するペンダントだと、分科会最後に、皆さんにお話されていたのが心に深く残っています。

分科会に参加させて頂いて、感じた事を、子どもたちや大人の方へのメッセージとしてつづりました。

“いのち” あなたが生きた証

世界にたったひとつしかないいのち

その命だけをたいせつにしてほしい

生きていさえすれば、かならず、笑える日がくるから…

だから、私は、あなたに生きていてほしい

どんな時も私は、あなたのみかただから…

どんなあなたも、だいすきだから…

どこにいても誰ともわたしはあなたのことがすきだから…

あなたはあなたしかいない

世界に一人のあなたを、だきしめて、大切にしてください…

今、のりこえられない事でも、時間がやさしくあなたをつつんでくれる日が、

ときの流れも信じてみてほしい…

今しか出来ない事を、ひとつひとつ

その、ひとつひとつが、かならずかならず、あなたの未来に

つながります。えがおの自分につながります…

未来のあなたが、今のあなたにそっとよびかけています。大丈夫だよ…

あなたの胸に光るものをたったひとつだけ見つけてみてください…

そのたったひとつの光を信じてみてください…

(2014年9月 HIROKO)



## これからの子育て・教育を考えるフォーラム

☆ 未来 ☆

～子どもが宝とするならば、親もまた宝～

2014年1月13日(月)、大阪府立大学 I-site なんば 2F にて、大阪府立大学大学院人間社会学研究科「教育問題特論」オープンセミナー「これからの子育て・教育を考えるフォーラム「子育てもいろいろあっていい」に参加させて頂きました。

講師は、精神科医の明橋大二さんでした。

自己肯定感の大切さを事例や分かりやすい手記などを通してお話して下さいました。

私は、生きているだけで存在価値がある。

私は、必要な存在。

大切な人間、

生きていていいんだ。

私は、私でいいんだ。

子どもをほめることの大切さ。そして、ポイントを話されていました。

- ① 出来ない事より出来る事に目をやる
- ② 出来て当たり前ではなく、出来なくて当たり前
- ③ 比較するなら、ある時点で比較しない。以前のその事と比較する

「ありがとう」という言葉の大切さ。

自分みたいな人間でも役に立てるのかなと思える事の大切さ

生きている価値があると思える事の大切さ

子どもの自信は、生きる価値＝生きる意味を育む事

あなたは、あなたのままで生きていてもいいんだよ。  
ただそれだけでいいんだよ。それだけで。

あなたは、あなたのままで。わたしは、わたしのままで。

ところが、温かくなる講演でした。参加させて頂き、本当に有難うございました。

(2014年1月 HIROKO)

## JERRYBEANS 講演ライブ

泉南にあるイオンモールにて、人権イベントがありました。いえ、正直に告白しちゃいます。これに登場される JERRYBEANS さんに会いに行きたかったんです。

大阪からも行ける範囲にいらっしゃるということ、一般参加も OK だったこと、通信に原稿を寄せていただいたお礼を改めてしたかったこと・・・、など。そしてお昼過ぎからならば、少しゆっくり出て、ゆっくり帰っても大丈夫な時間だし、と。

(先に言うと、JR で寺田町から和泉砂川まで、途中の乗り換えも含めてちょうど1時間。ここ注意。電車のみで1時間先。これに、駅まで歩く時間や、駅からバスの時間を含むと・・・?)

少し遠く思える場所でも、それでも出かけていきたいと思えたのは、「直接会う」という強い思いがあったから。

そして、「マイペースプロジェクトさんなら、絶対に期待を裏切らないから」という、またまた訳のわからない、でも疑うことのない確信があったから。

会場に着いて、ミイ子ちゃんと合流。

「ロコさんの席、あそこだよ！」

と指し示してくれた場所は・・・。うふっ☆

13時半から、泉南子ども会議のとりのくみの発表があり、その後14時から、いよいよ JERRYBEANS さんが登場☆

きっちり予習していった甲斐があって、スクリーンに映し出される歌詞とともに、小さく口ずさみながら、そしてやっぱり、涙しながら。

そんななかにも、くすっと笑える要素もあって。リーダーのノリくんが言っていました。



「笑顔ってね、うつるんです」

本当だなんて思った。

ふとした瞬間の、「くすっ」。あ、今、私、笑った？  
そう気づいて、あわてて笑うことをやめた、あの日の自分。

学校に行けないことは、自分が悪いから。ずっとそう思って、そんな自分には笑う資格なんてないって思っていた、あのころ。

学校に行けないことで、親が責められる。本人も責められる。「育て方が悪いから」そんな偏見で。



史朗くんの、「学校に行けないことに対して、今でもそんな偏見(=親の育て方が悪いという偏見)があります」

という言葉に、思わずうなずいてしまう。

だって、こんな偏見のまなざしがない環境下なら、「親の私の育て方が悪かったのかなあ・・・」なんていう言葉、聞かれないはずだね。

(これ、親御さんとしては自戒の意味をこめているのかもしれませんが、絶対に言ってはいけない言葉ですからね！)



どうであっても自分を自分として受け止めてくれることの、受け止めることの大切さ。学校に行くことがいいか悪いかではなくて、その人の今。

ユッケ、通信に原稿ありがとうね。そっちでもうるつときてたので免疫できてるかな、と思ってたのに。

そして今回の講演ライブは、夏合宿のときとちがって、この方もご一緒。



手話ボーカルの yokko さん。

手話といえば、「一時」興味をもったことがあるので、なんとなく、「自分より後ろならば過去(逆に前なら

未来)」、他、「私の名前は〇〇です」(〇〇部分は表現できない)、「ありがとう」、「〇人」、このマルに入る数字として、1~99 まで、ぐらいならわかる程度。

ちなみに「<sup>いっとき</sup>一時」というのは、「興味をもった1時間後には忘却のかなた」というレベル。

これを幾度となく繰り返してますです、ハイ。

うるっと(どころじゃない)した部分もあれば、ノリくんにつられる形で笑顔になるシーンもあり、最後にはでっかくピース！

人権について・・・、っていうと、何やら堅苦しそう・・・、って思ってしまうけど、こういう形がきっかけならば、ずっと入り込みやすいんだらうな、とも思えて。

夏合宿のときには10分ほどの登場だったけれど、今回はだいたい1時間。10分の登場でもかっこよかった彼ら、今回の1時間の登場では・・・

やっぱりかっこよかった！

JERRYBEANSは、今ではすっかり、「私に影響を与えたバンド」です☆

・・・いや、夏合宿、もっと前からか？



「出会ってくれて、本当にありがとう♪」って、よく史朗くんが言っているけれど、それは私も同じです☆  
いや、私のほうが強いもん！(ここで勝負してどうする(笑))

最後に。

ここに掲載したメンバーさんたちの画像については、「どんどん掲載しちゃってください」とのこと。というわけですので、遠慮なく使用いたしました。

後日談：

実は、この講演ライブのときに、ミイ子ちゃん、私の腕には、それぞれこんなものが巻かれていました。



これ、

「11月23日の泉南でのイベントのときにつける！」

ということで、はりきって作成したもの。どんなイベントでも対応できるよう、大きすぎず、でもさりげなくアピールできそうなもの・・・、ミサンガ！ ってことで。

当日、ミイ子ちゃんの腕には「JERRYBEANS」、私の腕には「MYPACEPROJECT」。

また、マイペースプロジェクトの皆さんにお会いできますように☆

マイペースプロジェクト

<http://mypace-project.org/>

(2013年11月、ラヴ・ブログより一部改訂)

フォロさんオープン講座

フォロさんオープン講座に、林が講師として呼ばれ、お話ししてまいりました。

事前打ち合わせの際、『『どうしてフリースクールを始めようと思ったのか』といったあたりをお願いしま

す」と言われ、さて、どうしたものかな、と内容を考え始めた段階で、「これまでの中に、何かきっかけがあったかも」と思いだし、年表形式で何となくできごとを整理してみました。

これをもとに、お話しいたしました。

その中で思ったのは、「いいことも、悪いことも、信じたのも、疑ったのも、『人』が関係している」ということ。今も、人あつてのフリースクールです。

通ってくださる人、関わってくださる人、援助してくださる人、応援してくださる人……。だから私、人と関わるひとつのツールとして、フリースクールをしているのかもしれない、と。

それにしても、関西のフリースクール同士って、仲がいいというか……。いい、とは言わなくても、こうして協力しあうことを「ほぼ当たり前のように」(あくまで個人的に感じる範囲です)するのは、すごいなあと改めて思います。

今回も打ち合わせの際に、「自分のフリースクールの講座に他のフリースクールの代表呼んじゃうって、よくよく考えたら、普通はないんじゃないかな、って思ってた」なんて、笑って言ったような、ないような。

「困ったときにはお互い様」とか、「全部合致しなくても、どこかしら一致しそうな、思い切って一緒にやっけていきませんか?」とか。

「どうしてそんなことができるんでしょう?」と、以前、ある方からインタビューされたことがあります。実は、私も答えはよくわかっていなかったりします。わかっていないんだけど、でも何だか「いい」んです。

そんな「何だか『いい』」が、ちょうどいいバランスになっているのかな、なんて。

最後に、フォロさん。うまくお話しできたかどうかはわかりませんが、今回は講師としてお招きいただき、

ありがとうございました。

フォロさんのサイト  
<http://foro.jp/>

(2014年1月 ラヴ・ブログより一部改訂)

## 冬の北陸に飛び込んできました

2月10日にお休みをいただき、3連休を利用して北陸の旅へ行ってまいりました。



雪のある様子。うまく印刷されるかしら?

念のため。ただ「旅」をしてきたのではなくて、他県団体の訪問もいたしました。今回の見学先は、富山県射水市(=いみずし)にある、「子どもの権利支援センター『ぱれっと』」でした。

日ごろ、あまり比べるのは好きじゃない、と思っても、そこはどうしても、自団体と比較してしまう、他団体訪問時の悲しき性。今回も、「あ、うちと同じ!」「ああ、うちにはないなあ」といった視点で見ることが多く、利用のルールが掲示してあるのを見て、「うちの団体は、細かいことは明示してあるけれど、そもそも大きなルールってあったっけ?」なんて思ってしまった。

(あるといえばあるですよ! 相手が子どもだろうと大人だろうと、「『まちがっている』と思ったら言おう」とか)

団体をちゃんと見て……。きたはずなんです。私は、街中あたりまえにある雪にはしやぎ、時折出る富山弁にもはしやぎ、「ちゃんと見学してきたの?」と

突っ込まれたら…、返せる自信がありません(汗)

でも、ちゃんと、大切な「宝物」をいただけてきました。それが何かは…、ヒミツ☆  
(でも、家宝にしたいぐらい！)

ちなみに、富山の雪はどのぐらいかというところ…  
「今年っちゃ雪が少ないが〜」(エセ富山弁)  
だそうです。

## Voice

### — 不登校を経験した立場として —

不登校について言われていること、経験してきたこと等、つづっていきます。(無断転載厳禁)

「辛いのに頑張らなくてもいいよ」  
「大丈夫、そのうちなんとかなるよ」  
親も、まったく通わなかった学校の先生達も、病院の先生も、周りの大人がみんな言うこの言葉が大嫌いだった。  
どうにかしたくてもどうにもならないのが苦しいのに、そんな無責任なこと言われても余計に苦しいだけだし、どうにもならなかったらどうするんだよ、頑張らなかつたら絶対どうにもできないじゃん。  
そんな風に思ってた。

中学入学と同時に学校に行かなくなってから、みんなが勉強して、部活やって、いろんなことを学んでいるときに、完全に昼夜逆転のゲーム三昧生活。遅ればなしの毎日。みんなはどんどん成長していくのに自分だけ立ち止まっている気がして辛かった。

気付いたら中学卒業の時期。みんなは当たり前のように高校に進学する。でも自分は何もできない、それが一番嫌だった。

登校拒否をしている間にも、色々なアドバイスと大嫌いな言葉をくれた大人達がいた。僕はアドバイス

よりも大嫌いな言葉に思いっきり逆らうことを決めた。

「そのうち？今じゃなきゃ！」「頑張らなくても？違う！無理してでも！」

夜間定時制の高校に通うことにした。入試はあったけど、ひらがなとカタカナの作文を書いて、ちゃんと通える？という質問にハイと答えるだけだった。

結局1年半だけ通った。無理して、無理して、無理して。

人間関係も、勉強面も、生活面も全部ボロボロで、続かなくなってやめた。大嫌いな言葉に負ける気がしてイヤだったけど、頑張るのとか無理するのはもうやめようと思った。でも結局何もできずに終わるのがイヤだったから、高校卒業程度認定試験を受けて、まずは高卒の事実作りまではやろうと思った。



少し考えが変わったここからが「今の僕」の出発点。まずは、もう無理に頑張らない。だって、頑張ってたから。そんなスタンスに変えて通信教育で勉強して高卒認定試験は合格。今度はなんとかなった。

それから好きだった自動車の勉強ができる大学に入学した。大学生活は楽しくてしょうがなくて、就職も決まって、卒業して、今は社会人。

そう、辛いときは頑張らなくて、そのうちになんとか

なった。無理しないで、気付いたら頑張っていて、最後はなんとかなる。これは大人たちからもらった言葉、僕が体験したこと。

登校拒否してた頃は昼まで寝まくって、ゲームで地理、歴史、漢字、英語、スポーツのルール、車のこと、パソコンの使い方を覚えた。実はしっかりと体力を蓄えて、色々な勉強もできていた。ゲームでも大学、社会人の今でも役に立つことがたくさんあった。今思えば、この間に体と心の充電ができていたのかな。

僕は大人になって、「辛いのに頑張らなくてもいいよ」「大丈夫、そのうちなんとかなるよ」という言葉が好きになった。(主に自分に向けて使うけどね。)  
ただ、辛くて苦しんでいる人が受け入れられる言葉じゃないと思う。だから、辛いときは、ゲームでもスポーツでもテレビ見るのでも昼寝でも何でもいから、好きなことをやって心の充電をしたらどうかな？学校なんか行ってなくても、心が充電できてれば、何かをしようってときに自然と体が動くようになっていこうと思うから。

(寺床有生)

この、「Voice—不登校を経験した立場として—」では、不定期で、いろんな立場で不登校を経験した方の「生の声」を掲載していく予定です。掲載にあたっては、本人の承諾をいただいた上で掲載をしています。

個人名や年齢などが特定されると編集者が判断した場合、その箇所を編集し、再度本人に確認をとった上で掲載することがあります。他、一部をのぞき、いただいたままの文で掲載をしています。



## 伝言板

### ○ 賛助会員・カンパのお願い ○

ラヴニールの活動のため、財政的援助をいただくと、大変助かります。

ただいま賛助いただいた資金は、調理器具、ボードゲームなどの子どもと大人が混じって遊ぶもの、クッションなどの環境を整えるものを購入する資金として、大切に使用いたします。

皆さんからの暖かいお気持ち、ラヴニールの活動をより充実したものへと発展させるきっかけとなります。

ご支援いただきました場合は、賛助のお礼として通信「ラヴ・ノート」と、イベント情報等をお送りいたします。

振込み先(郵便振替)

口座番号 00910-1-171298

加入者名 志塾フリースクール「ラヴニール」

それ以外の銀行から

ゆうちょ銀行 店名 ○九九店

預金種目 当座 口座番号 0171298

加入者名 志塾フリースクール「ラヴニール」

一口 3000 円／年 複数口のご応募  
大歓迎です

ぜひ、支援をよろしくお願いいたします。

郵便振替の場合、氏名、住所と、費目(賛助会費として、等)、寄付をいただいた方としてこの通信に氏名掲載の可否(氏名の掲載可、イニシャルの掲載可、不可のいずれか)を備考欄に明記のうえ、よろしくお願いいたします。

### ○ 譲ってください! ○

現在希望が出ているのは、次のとおりです。ご家庭



にあるもので、現在お使いになられていないものがありましたら、ぜひ、お譲りください。

漫画、教材  
刺繍糸や布、画材、未開封の紙粘土など、  
工作に使えるようなもの  
調理用ミキサー

上記以外にも、フリースクールの活動に役立ちそうなものがありましたら、ご一報ください。

## ○ ありがとうございます ○

Kさん、Hさんから、賛助会費をいただきました。  
Kさんからアコースティックギターを譲っていただきました。

ありがとうございます。大切に使います。

## ○ ブログ・twitterのご紹介 ○

ラヴニールの日ごろの活動の様子や思うことを、ブログではできるだけ写真をつけて、twitterではできるだけリアルタイムで書き綴っております。

ラヴニールに関すること、フリースクール同士の間でのイベント、ネットワークのこと、会議のことなども、少々ながら掲載しておりますので、ぜひ、ご覧ください。

## ひとこと

最近、ヘンな風邪？が、私の周囲で流行っているようです。かくいう私も、12月末に胃腸炎、1月末にその「ヘンな風邪(=やけに長引く風邪)」にかかり、病院へ。内科に数ヶ月のあいだに2度もかかるのは、本当に久しぶりのことでした。皆さまもお気を付け下さい。もしかして、「ヘンな風邪」を拡散しているのは、この私だったりして・・・？(ロコ)

最近、乗馬体験をしてきました。白い馬が見たかったのです。白い馬は、神め(かみめ)というそうです。私が乗った馬が、茶色の競走馬だった馬らしいです。名前は、BAKUらしいです。また、機会があれば、行ってみたいです。今年は、午年だし、ちょうど、いいですね☆(HIROKO)

息子はもうすぐ一歳。最近周りもベビーラッシュで、よその赤ちゃんに会う機会も多くなりました。子どもを産むまでは赤ちゃんはみんな同じに見えていたのですが、みんなそれぞれ違って、でもどの子も可愛くて。「可愛い、可愛くない」とか「○○ができる、できない」とかいう基準は相対的なものでしかないなあと思う今日このごろです。どの子も自分らしく、しあわせに生きていけることを願います。

(あすみ)

まーまーまーまー(このあいだ、ママがめをはなしたすきに、「ちょこれえと」ってやつをたべてみました。あまくておいしかったです。またたべたいな。)

(あきひで)

## 編集後記

実は、個人的に、「書道」が大好きです。書道といっても習っているわけではなく、完全自己流。硯で墨を・・・、ではなく、筆ペンで、ですが、あるときふと、「年賀状ぐらいは、せめて毛筆で宛名書きをしよう」と思い立ち、以来、字の上手・下手はさしおいて、年賀状は宛名をひとつひとつ筆ペンで手書きにしております(団体宛てのものは、普通の黒ペン書きですが・・・)。

そして最近、諸事情から住所やお名前を筆ペン書きする機会があり、その練習も兼ねて、大きな封筒で郵便物を出すときは、筆ペンで宛名を書いています。その郵便物を出しに行ってくれたあすみちゃんによると・・・、郵便局員さんから、「達筆ですねえ・・・」

と言われたとか、なんとか。

ええっ？ 自己流なのに？ とか思いながらも、ゲンキなヤツはますます筆ペンで字を書くのが好きになってしまい、「下手の横好き」ではありますが、これからも筆ペンは活用していこう♪ と思っております。

ちなみに…。「習字の授業」は、大っ嫌いでした。コンクールなどで入選したこともありません。だけど、自分でやってみたい！ と思ったなら、やっぱり楽しく感じられるから、不思議です…。

---

---

志塾フリースクール「ラヴニール」

対象年齢 6歳から18歳  
(高卒資格コースのみ20歳まで)

活動時間 月曜から金曜の10時から17時  
原則土・日、祝日、年末年始  
お盆前後はお休みです

入会説明 月に1度土曜日に合同説明会、他、随時行っております  
体験入会期間(2週間)は無料でご利用いただけます

代表 林 裕子

スタッフ 常勤1名、他非常勤数名

住所 544-0023

連絡先 大阪市生野区林寺2-25-24  
JR大阪環状線寺田町駅  
関西本線東部市場前駅、  
ともに徒歩12分  
他、あべの橋方面よりバスあり

Tel/fax 06(6776)2629  
(活動時間のみ)

e-mail lavenir.since2010@gmail.com

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~lavenir/>

Twitter <http://twitter.com/#!/lavenir65>

ラヴニール通信「ラヴ・ノート」

発行日 : 2013年10月18日

発行者 : 志塾フリースクール「ラヴニール」

発行人・編集: 林 裕子

この「ラヴニール通信『ラヴ・ノート』」は、  
**公益財団法人「俱進会」**の助成金を使用し、  
印刷・発行しています。

